

スウェーデン

主要データ

国名〔英名〕	スウェーデン王国〔Kingdom of Sweden〕
面積(km ²)	450, 295
海岸線延長(km)	3, 218
人口(百万人)	9. 1
人口密度(人/km ²)	20. 1
GDP(百万 US\$)	478, 961
一人当り GDP(US\$)	52, 181
一人当り銅使用量(kg/人)	19. 7
主要鉱産物：鉄鉱石(千 t)	鉄鉱石、銅:57. 2、鉛:63. 5、亜鉛:195. 1、金:4. 9(t)、銀:291. 5(t)
主要鉱産物：地金(千 t)	銅:227. 8、鉛:66. 2
鉱業管轄官庁	スウェーデン鉱業監督庁(Mining Inspectorate of Sweden)
鉱業関連政府機関	スウェーデン地質研究所(SGU)
鉱業法	1992 年 7 月 1 日に改正された Minerals Act(1991:45)。その他の鉱業に関わる主要法律：Minerals Ordinance(1992:285) The Act on the Continental Shelf(1966:314)、The Certain Peat Deposits Act(1985:620)、The Certain Peat Ordinance(1985:626)
ロイヤルティ	1992 年の鉱業法改正により、廃止。
外資法	1992 年の鉱業法改正により、外国資本の活動が自由化。
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	-
鉱業公社	LKAB 公社(100%政府出資)
鉱業活動中の民間企業	Boliden、Lundin Mining 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2008 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lundin Mining は 2008 年 10 月、予定通り Storliden 鉱山を閉山。 ・ 世界不況に関わらず、2008 年も従来の銅、鉛、亜鉛に加えて、鉄鉱石価格の上昇で鉄鉱石探鉱活動、そして気候変動対策の動向により、ウラン探鉱活動が活発に行われた。

1. 鉱業一般概況

(1) 生産状況

スウェーデンの主な鉱産物は、鉄鉱石、鉛、亜鉛である。スウェーデンは、欧州最大の鉄鉱石生産国で、欧州全体の採掘量の半分を占めており、LKAB 国営公社が国内最大級の Kiruna 鉄鉱山ならびに MalMBERGET 鉄鉱山を操業している。なお、Boliden 及び Lundin Mining の生産によって、亜鉛鉱生産量は、世界第 11 位の 1.6%(世界全体)、鉛鉄石生産量は世界第 9 位の 1.6%を維持している。しかし、Lundin

Mining は予定通り、Storliden 鉱山を 2008 年 10 月に閉山した。さらに、Boliden は経済不況により減産計画を発表しているため、2009 年の同国における鉛・亜鉛の生産は減産すると予想されている。

(2) 主要鉱山企業の経済対策

スウェーデンで鉱山生産を行う三大企業は、LKAB 公社(スウェーデン)、Boliden(スウェーデン)、Lundin Mining(本社：Toronto)である。LKAB 公社は 2008 年、鉄鉱石の需要増によって、

同社の鉄ペレット長期供給固定価格が前年比 87% 増となり、総売上高は前年比 41.2% 増の 231 億 SEK と過去最大となった。世界不況に陥った 2008 年 Q4 以降、2009 年の更なる需要減を予想して、短期の減産及び必要なコスト削減は行っているが、将来の需要増加を見通して、スウェーデンでの生産能力の向上及び探鉱開発に向けた長期的な投資は継続している。一方、Boliden は 2008 年、ベースメタル価格の低迷に大きく影響し、営業利益は前年比 81% 減の 10 億 SEK に激減した。しかし、2007 年に同社が有する Ronnkar 及び Harjavalta 製錬所の拡張工事を完了していたため、価格が高騰していた貴金属を含む金属生産の効率化によるコスト削減を実現することができた。また、人件費の削減対策(計 450 名を一時または永久解雇)やヘッジ取引も行った結果、2008 年のキャッシュフローは前年の 23.2 億 US\$ 赤字に対して、323 百万 US\$ 黒字へと回復した。同社は 2009 年、需要減により減産を計画するが、資産売却の発表は無く、Aitik 銅鉱山の拡張を継続する。Lundin Mining も、ベースメタル価格の下落が影響して、2008 年の総売上高は前年比 21.2% 減であった。さらに、同社の所有する営業権及び長期保有資産の減損評価が大きく影響して、純損失は前年比の約 6 倍の 9.5 億 US\$ となった。この結果、2009 年前半には資産価値の低いアセットを売却または休山によって、スウェーデンの Zinkgruvan 鉱山を含めたコア資産のみに事業を集中した。

(3) 探鉱状況

スウェーデンの探鉱投資の魅力は、①多くのベースメタル鉱床を有する先カンブリア紀の岩石が露出する欧州最大のフェノスカンジヤ楕状地の存在、②150 年の歴史を持つ地質調査所(SGU)の地質データが充実していること、③鉄道等のインフラ設備が十分に整っていること、④経済及び政治が安定していることである。また、1992 年の鉱業法の改正による外資の鉱業活動の自由化により、酸化鉄銅金鉱床(IOCG)の探査を目標として、Anglo American、BHP Billiton、Rio Tinto、Phelps Dodge 等の大手鉱山会社が活躍し、その結果、Anglo American が Kiruna 鉄鉱山近傍の Rakkurijarvi で有望な

IOCG 型鉱床を発見している。SGU によれば、2009 年 2 月時点の進行中の探鉱プロジェクト(鉱山周辺も含む)は、82 件(ベースメタル 48 件、鉄鉱石 8 件、金 11 件、ウラン 11 件、その他の REE など 4 件)であった。世界不況により、2008 年は新規探鉱権の申請は前年に比べて減少したが、SGU は、「同国の既存探鉱プロジェクトは、減速または規模は縮小されているが、継続されているケースが多い」としている。

2008 年は従来の銅、鉛、亜鉛に加えて、価格が上昇したことで鉄鉱石が注目された。また、気候変動対策に向けた需要増を予想してウラン探鉱が集中した。鉄鉱石に関しては、SGU によれば、スウェーデンは欧州のなかで最大の鉄鉱石の埋蔵が期待されており、鉄鉱石埋蔵量は約 1,039 百万 t、現在の採掘ペースで 46 年間は供給できるとされる。なお、そのうち約 730 百万 t は、同国北部に存在するとされている。よって、LKAB 会社の Kiruna 鉄鉱山を代表とする同国北部の Norrbotten 地区では、活発に鉄鉱石探鉱が継続されていた。ウランに関しては、低品位ではあるが、同国には世界のウラン埋蔵量の 15% があるとされている。Mawson Resources 社を代表とした 15 企業以上が、酸化鉄銅金型鉱床(IOCG)が発見されている同国北部の Norrbotten 地区及び、ノルウェー国境近くで活発に探鉱を実施している。なお、IOCG 型鉱床は随伴金属としてウラン、REE(希土類元素)、フッ素、コバルトを有することが多いといわれる。その他、Norrbotten 地区からやや南の Skellefte 地区、そして中世より鉱山開発が行われていた首都ストックホルムの北西に位置する Bergslagen 地区では、ベースメタルを中心に探鉱が行われている。

2. 鉱業政策の主な動き

1992 年に鉱業法が改正されて以来、通常の法人所得税(28%)以外の追加課税やロイヤルティが撤廃され、外国資本の投資も自由化されている。また、スウェーデン鉱業監督庁(Mining Inspectorate of Sweden)は、探鉱権及び鉱業権の取得方法を詳しく公式ホームページにて紹介している。但し、スウェーデンは 1992 年に

鉱業法が改正されてからも、フィンランドのような鉱業を含む開発案件への出資制度は存在しない。

(鉱業法ダウンロード可能ウェブサイト：
http://www.bergsstaten.se/index_e.htm)

鉱業政策に関しては、以下の3つの動きがある。

(1) 欧州連合の原材料イニシアチブ (Raw Materials Initiative) への協力

スウェーデン地質調査所 (SGU) 及び同国の資源コンサルタント会社である Raw Materials Group は、EU が 2008 年 11 月に発表した原材料イニシアチブ (主な 3 つの政策：①EU の国際市場における原材料の安定確保、②EU 圏内からの資源供給の強化、③EU 圏内の資源利用効率化及びリサイクル推進) に積極的にコンサルテーションを行っている。スウェーデンの地質調査所によれば、スウェーデンは、ノルウェーを含むバルト海周辺地域全体の金属鉱石埋蔵量の約 50% を占めているため、本イニシアチブの②の協力として、2008 年に EU 圏内の資源量推定値を発表した (『Nordic Steel & Mining Review』2009 年 3 月号)。

(2) 南部アフリカ諸国との協力

スウェーデン地質調査所 (SGU) は 2009 年 4 月、ボツワナ、ナミビア、南アを中心とした南部アフリカ諸国と『MeetingPoints Mining』プロジェクトを開始すると発表した。本プロジェクト

は、スウェーデン国際開発協力庁 (SIDA) が支援しており、SGU は①南部アフリカ諸国への持続可能な資源開発技術の移転、②スウェーデンの鉱業部門 (民間企業、公共機関、大学等) と南部アフリカ諸国のカウンターパートとの長期的な関係の形成を目的としている。

(3) 新原子力法の制定を検討

今日、スウェーデンの電力供給は約 50% が原子力に依存しており、1 人当たりのウラン消費量は世界第 2 位とされている (Mining Journal、2009 年 2 月号)。同国では、1979 年に米国 Three Mile Island での大規模な原子力発電所の事故が発生したことがきっかけで、原子力反対の動きが高まり、既設の原子力発電所を 2010 年までに段階的に停止することが 1980 年に決定された。しかし、気候変動対策及びノルウェーへの電力依存を軽減するために、2009 年 2 月の政府の発表では、政府は既存原子力発電所 10 基の拡張及び修復を許可する新原子力法 (Nuclear power law) の制定を検討している。なお、Mawson Resources 社によれば、同国の原子力発電所は、年間 1,500t のウラン燃料 (Uranium Fuel) を輸入している。1965～1969 年に同国でウランを生産していた Ranstadsverket 鉱山は、コスト高により閉山したため、同国でのウランの生産はない。従って政府は、ウラン原料の自給体制を構築するために、ウラン採掘に関連する法律及び環境基準の整備を行いながら、新規ウラン鉱山開発の機会を調査している。

3. 主要鉱産物の生産・消費・輸出・輸入動向

表 1. 主要非鉄金属の生産量・消費量

(単位：千 t)

鉱種	鉱山生産量		地金生産量		地金消費量	
	2007 年	2008 年	2007 年	2008 年	2007 年	2008 年
銅	62.9	57.7	213.9	227.8	179.5	178.9
鉛	63.2	63.5	69.7	56.8	12.0	8.2
亜鉛	214.6	172.2	-	-	21.5	28.8
金 (t)	5.2	5.3	NA	NA	NA	NA
銀 (t)	323.2	293.1	NA	NA	NA	NA

(出典：World Metal Statistics July 2009)

表 2. 主要非鉄金属の輸出量

(単位：千 t)

鉱種	2007年	2008年	増減率(%)
銅鉱(グロス)	-	-	NA
銅地金	65.9	70.0	6.2
鉛地金*	59.7	49.3	-17.4
亜鉛地金	NA	NA	NA

(*粗鉛のブリオンを含んでいる可能性有り)

(出典：World Metal Statistics July 2009)

表 3. 主要非鉄金属の輸入量

(単位：千 t)

鉱種	2007年	2008年	増減率(%)
銅鉱(グロス)	420.1	393.3	-6.4
銅地金	31.5	21.1	-33.0
鉛地金	2.0	0.7	-65.0
亜鉛地金	21.5	29.2	35.8

(出典：World Metal Statistics July 2009)

4. 鉱山・製錬所状況

(1) 操業中の鉱山

表 4. スウェーデンの主な稼働鉱山

鉱山名	権益 所有企業	鉱種	2007年 生産量 (金属純分)	2008年 生産量 (金属純分)	08/07 増減率 (%)	備 考
Aitik (露天採掘)	Boliden AB (スウェーデン) 100%	Cu	50,487t	47,225t	-6.5	<ul style="list-style-type: none"> 1968年に生産を開始。Bolidenが有する鉱山の中で最大規模。 2010年3月、鉱山拡張を完了予定で、2014年に粗鉱生産36百万t/年を目標とし、副産物としてモリブデンを浮遊選鉱工程で分離回収を計画。
		Au	1,178kg	1,218kg	3.4	
		Ag	42,301kg	32,087kg	-24.1	
Boliden Area (3つの鉱山エリア) (露天及び坑内採掘)	Boliden AB 100%	Zn	70,913t	38,479t	-45.7	<ul style="list-style-type: none"> 2008年、新尾鉱堆積場の建設計画の遅延により、全体的に減産。2010年には建設を完了し、フル生産(Zn 51千t、Cu 11千t)に回復予定。 2009年Q1は、経済不況による減産計画を発表。
		Cu	11,633t	9,413t	-19.1	
		Pb	3,409t	1,896t	-44.4	
		Au	1,412kg	1,141kg	-19.2	
		Ag	79,753kg	47,671kg	-40.2	
Garpenberg (坑内採掘)	Boliden AB 100%	Zn	71,464t	83,938t	17.5	<ul style="list-style-type: none"> 2008年及び2009年Q1、高品位の鉱石採掘及び選鉱場の能力向上により、亜鉛・鉛・銀は増産。
		Cu	682t	581t	-14.8	
		Pb	25,139t	28,514t	13.4	
		Au	244kg	243kg	-0.4	
		Ag	117,798kg	130,287kg	10.6	
Kiruna /Malmerget (坑内採掘)	LKAB 公社 100%	Fe	24.7百万t	23.9百万t	-3.2	<ul style="list-style-type: none"> 左の生産量は、粉鉱及びペレットを示す。 Malmerget 鉱山は、2008年2月の鉱山火災によって減産。需要減により、2008年12月よりペレット製造工場を一部閉鎖。2009年8月時点でも減産レベルで操業しているが、2009年9月にはフル生産レベルに回復する可能性が高い。 Kiruna 鉱山の生産レベルを2035年までにFe 30百万t/年に増強させるため、投資額を総額124億SEK(約20.4億US\$)に増加すると発表。Kiruna 鉱山付近のGruverget 鉄鉱床でも鉱山開発を継続し、Malmerget 鉱山での旧捨石からの回収を検討。なお、鉱物資源量(NI43-101規程、2008年12月時点)は、Kiruna 鉱山が328百万t(品位Fe 46.9%)、Malmerget 鉱山は73百万t(品位Fe 42.1%)である。
Storliden (坑内採掘)	Lundin Mining (本社：Toronto) 100%	Zn	13,944t	7,007t	-49.7	<ul style="list-style-type: none"> 2008年10月、公式に閉山。2009年末に土地復興を完了予定。
		Cu	3,870t	1,847t	-52.3	
Zinkgruvan (坑内採掘)	Lundin Mining 100%	Zn	68,441t	65,631t	-4.1	<ul style="list-style-type: none"> スウェーデン最大の亜鉛鉱山。1857年に生産開始。 2006年以降、Dalby および Finnafalet ゾーンを中心にボーリング調査を継続。 2010年に銅生産を開始する予定であるが、2009年の経済不況により、遅延の可能性が高い。なお、フル生産は銅7,200t/年を目標。
		Pb	33,580t	33,075t	-1.5	
		Ag	1,756,074oz	1,694,566oz	-3.5	
Svartliden (露天採掘)	Dragon Mining (本社：Perth) 80%、 個人株 20%	Au	51,256oz	44,495oz	-13.2	<ul style="list-style-type: none"> 2008年、同鉱山の深部にて更なる金の鉱脈体を発見。

(出典：MEG、各社公式ウェブサイト)

(2) 探鉱プロジェクト

表 5. 主な探鉱プロジェクト

プロジェクト	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	備 考
Dannemora	Dannemora Mineral Ab (本社：Sweden) 100%	Fe	・旧鉱山の再開発で、2009 年末に生産を開始し、2011 年までには 1.5 百万 t/年の鉄鉱石生産を目標。
Grangesberg	Mikula Mining (本社：London) 100%	Fe	・1989 年に閉山する前は、同国中部最大の鉄鉱山。2008 年に再開発を開始。 ・予測鉱物資源量は 100 百万 t(品位 Fe 40%)。
Tapuli/Stora Sahavaara/ Pellivuoma (露天採掘)	Northland Resources (本社： Vancouver) 100%	Fe	・2010 年までに Tapuli プロジェクトにて 2 百万 t/年で生産を開始する予定。2012 年までには Stora Sahavaara(又はフィンランドの Hannukainen)で生産を開始して、Tapuli も合わせて 5 百万 t/年にまで増強し、2013 年までには生産能力の向上で、合計 13 百万 t/年を目標としている。 ・NI43-101 規程に基づく概測鉱物資源量は、Tapuli で 34.85 百万 t(品位 Fe 24.08%)、Stora Sahavaara で 44.63 百万 t(品位 Fe 43.28%)、Pellivuoma で 33.8 百万 t(品位 Fe 30.0%)とされている。
Kallek	Beowulf Mining Plc (英) 100%	Fe	・1947 年、SGU が発見。2009 年 6 月、選鉱試験を実施中。過去データの資源量 92 百万 t(品位 Fe 38.5%)。
Masugnsbyn	G4G Resources (本社：Vancouver) 100%	Fe	・ボーリング調査中。Teck Resources との JV プロジェクト。過去データからの予測鉱物資源量は 134.2 百万 t(品位 Fe 31.6%)。
Ruotevare	Beowulf Mining Plc (英) 100%	Fe、Ti、 V	・2009 年 6 月、選鉱試験を実施。2009 年 7 月、Raw Materials Group と共同で同プロジェクトの経済評価を行うと合意。予測鉱物資源量(JORC 規程、2008 年、Fe カットオフ品位 30%)は 140 百万 t(品位 Fe 39.1%、Ti 5.7%、V 0.2%)。
Tasjo	Mawson Resources (本社：Vancouver) 100%	U、REE	・1963~1964 年に Swedish Atomic Energy 社が概算した Tasjo プロジェクトの鉱床サイズは、75~150 百万 t(U_3O_8 品位 0.03~0.07%)で、 U_3O_8 を 47 千~52.7 千 t、レアアースを 165~180 千 t 含むものとしている。2008 年 9 月、ボーリング 40 孔のうち 29 か所で有望なウランの鉱化(着鉱幅 6.3m で U_3O_8 品位 0.021%など)を捕捉している。
Hotagen	Mawson Resources (本社：Vancouver) 100%	U	・広大な Hotagen プロジェクト(8,360ha)の Klappibacken 鉱床では、2008 年 7 月に資源量を 51%増加し、カナダの NI43-101 報告規程に基づく概測及び精測鉱物資源量は、1.94 百万 t(U_3O_8 品位 0.07%の U_3O_8 含有量 1,458t)へと更新された。2009 年 2 月、同鉱床での追加ボーリング調査(1,400m 長)の許可を受け、2009 年 3 月に更なるボーリングを開始した。
HRU Group	Uranium International Corp (米) 100%	U	・1970~80 年代に SGU によって発見。 ・2009 年 4 月、Continental Precious Metals(本社：Toronto)から、17.25 百万 US\$で Guorbavare、Kvarnan を含むウラン探鉱権 13 件を獲得。うち 8 件の NI43-101 規程の概測鉱物資源量(2005 年)は、4.99 百万 t(品位 U_3O_8 0.12%)。
Viken	Continental Precious Minerals Inc (本社：Toronto) 100%	U、V、 Mo、Ni、 Zn	・2008 年の同社のボーリング調査により、2009 年 2 月に概測鉱物資源量を 72%増加し、NI43-101 規程で、23.6 百万 t(U_3O_8 0.019%、V 0.313%、Mo 0.028%、Ni 0.032%)。
Lappvattnet (坑内採掘)	Blackstone Ventures (本社：Vancouver) 100%	Ni、Cu、 Co	・1941-45 年に生産。 ・2008 年のボーリング調査により、予測鉱物資源量を更新。
Lainijaur	Blackstone Ventures 100%	Ni、Cu	・Lappvattnet と状況は同じ
Olserum	IGE Nordic (本社：Stockholm)	REE	・探鉱中止。同社は現在、同国にてウラン及びニッケルプロジェクトに注目。

(出典：MEG、各社公式ウェブサイト)

(3) 製錬所状況

① Ronnskar 銅製錬所(Boliden)

■沿革

Boliden は、フィンランドに 2 か所(Kokkola 亜鉛製錬所、Harjavalta 銅製錬所)、ノルウェーに 1 か所(Odda 亜鉛製錬所)、スウェーデンに 2 か所(Ronnskar 銅製錬所、Bergsoe 鉛バッテリーリサイクル製錬所)の合計 5 件の製錬所を有する。Ronnskar 銅製錬所は同社最大の銅製錬所で、港湾施設も有し、効率的な流通網が整っている。同製錬所の鉱石原料の 50%以上は、Boliden Area から供給される。

■動向

2008 年後半の銅価格の低迷が原因で、銅製錬所における 2008 年の営業利益は、前年比 35.8%減。よって、2009 年 Q1 は Harjavalta 製錬所と合わせて、約 17 千 t を減産予定。一方、2008 年下期の金融危機や貴金属価格の上昇により、2008 年の貴金属は増産。また、2008 年も製錬所の生産効率の向上を目指し、電子機器スクラップのリサイクルから回収される二次金属生産量を全体で前年比 25%増加させた。

表 6. Ronnskar 製錬所の生産量

鉱種	2007 年	2008 年	08/07 増減率
銅カソード(t)	213,894	227,774	6.5
鉛(t)	25,865	14,235	-45.0
亜鉛クリンカー(t)	36,418	40,803	12.0
金(kg)	12,086	13,425	11.1
銀(kg)	346,574	429,637	24.0
パラジウム鉱石(kg)	3,028	3,453	14.0

(出典: Boliden、Annual Report 2008)

Base Metals

1. Ahmavuoima copper, gold, cobalt
2. Viscaria copper, zinc
3. Rakkurjärvi copper, gold, iron
4. Norrbotten copper, gold
5. Liikavaara Östra copper, gold
6. Aitik copper, silver, gold
7. Majves copper, gold
8. Ballek copper, gold
9. Jervas copper
10. Uma copper, zinc, lead, silver
11. Nottråsk nickel, PGE
12. Storbofsund nickel, copper, cobalt
13. Ersmarksberget zinc, gold
14. Eva zinc, copper, silver
15. Rönnbacken nickel
16. Lainejaur nickel
17. Storliden zinc, copper
18. Rømdalen copper, zinc, gold
19. Rackejaur zinc, copper, silver, gold
20. Svartträsk zinc, lead, silver
21. Vindelgrånsele zinc, copper, lead, silver
22. Stekenjokk zinc, lead, copper, silver, gold
23. Maurliden zinc, copper, silver, gold
24. Kristineberg zinc, silver, copper, gold, lead
25. Norrliden zinc, copper
26. Petiknäs zinc, silver, lead, copper, gold
27. Renström copper, zinc, lead, silver, gold
28. Östra Åkulla zinc, silver, copper, gold, lead
29. Boliden copper, gold
30. Långträsk zinc, copper, lead, silver
31. Lappvattnet nickel
32. Ornsjö lead, silver
33. Lovstrand lead
34. Rörmyrberget nickel
35. Hoting nickel, copper
36. Bellviksberg zinc, lead, silver
37. Granberget zinc, lead
38. Rockliden copper, zinc, lead, silver, gold
39. Storkullen zinc, gold
40. Slättberg nickel
41. Falun copper, gold
42. Garpenberg zinc, silver
43. Lovisagravan zinc, lead, silver
44. Dingelvik copper, silver
45. Zinkgruvan zinc, lead, silver, copper
46. Tomtebo
47. Vitturn
48. Sala

Iron

49. Kiirunavaara
50. Mørtainen
51. Gruvberget
52. Leveäniemi
53. Stora Sjöavaara
54. Malnberget
55. Grängsberg
56. Dannemora

Gold

57. Grundträsk
58. Vargbäcken
59. Ålträsk
60. Barsele
61. Björkdal
62. Stortjärnhobben
63. Svartliden
64. Fäboliden
65. Enåsen
66. Solvik
67. Gladhammar

Uranium

68. Kvarnån
69. Norr Dottern
70. Pleutajokk
71. Duobblon
72. Täsje
73. Björkråmyran
74. Lilljuthatten
75. Hotagen
76. Viken
77. Southern Östersund Area
78. Storsjö

Other Commodities

79. Routevare titanium, iron
80. Storuman fluorite
81. Sumässjön vanadium
82. Ölserum REE

Current projects

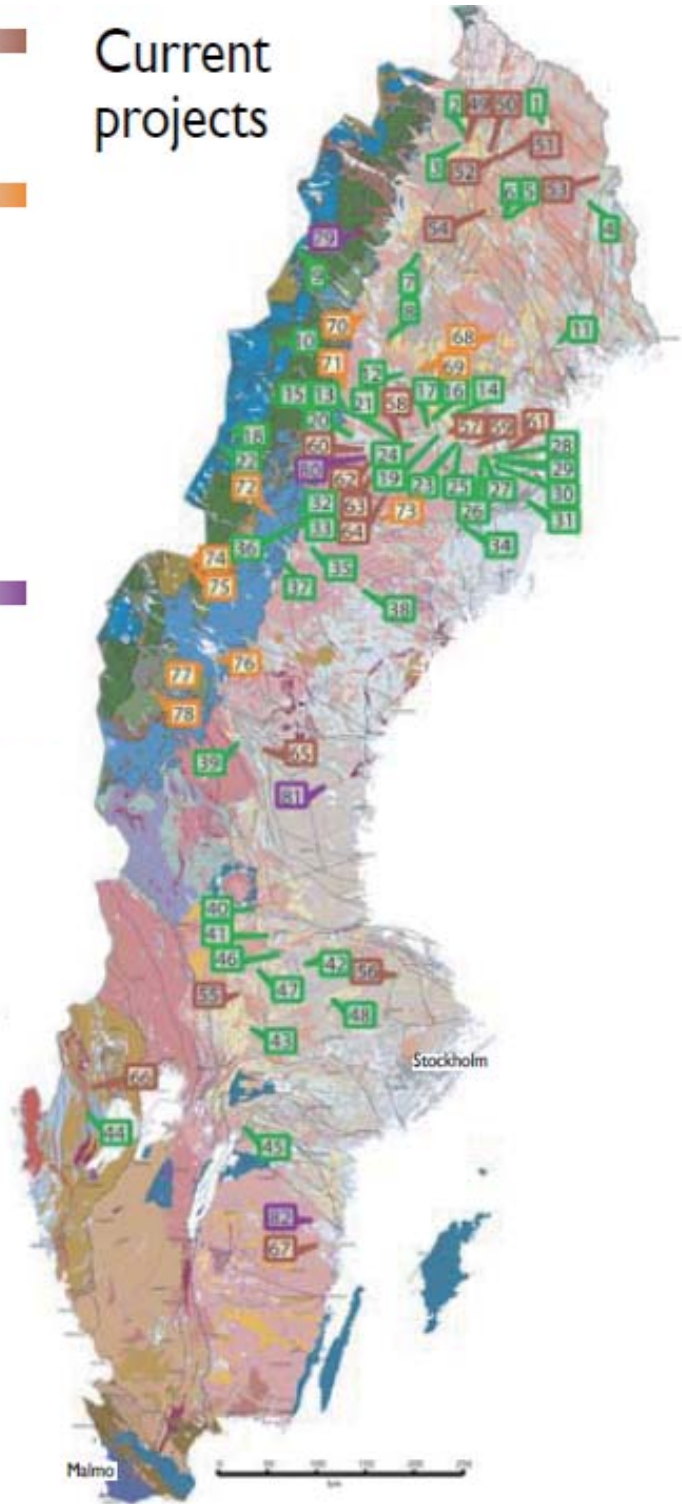


図 1. スウェーデンの主な稼働鉱山・探鉱案件・製錬所の位置図

(出典：2009年2月発行の Mining Journal、スウェーデン特集)

6. 我が国との関係

表 7. 日本のスウェーデンからの主要非鉄金属輸入実績 (2008 年)

鉱種	輸入量(A)	世界計(B)	(A)/(B) (%)	ランク
クロム地金(千 t)	1	963	0.11	7
鉄鉱石(千 t)	0	140,351	0.00	14
フェロクロム(千 t)	2	965	0.21	8
マグネシウム地金(t)	1	59,525	0.00	12

(出典：財務省貿易統計 2009)

7. その他トピックス

2008 年 H2 以降の世界不況により、2008 年の同国における GDP 成長率は、-0.23%で 181 か国中 171 位であった(IMF 調べ)。失業率も高水

準の 6.17%となった。

(2009. 8. 24/ロンドン事務所 フレンチ香織)